

## 除草剤

# バサグラン・スカイ<sup>TM</sup> 液剤



除草剤分類 **6**

有効成分

ベンタゾン(ナトリウム塩) ..... 44.0%

登録番号：第25010号

性 状：赤色～黄赤色  
澄明水溶性液体

毒 性：普通物\*

有効年限：3年

包 装：500mL

\* 普通物：毒劇物に該当しないものを指している通称

## ■特長

- 無人航空機による省力散布可能な新製剤。
- 一年生広葉、カヤツリグサ科雑草および多年生雑草に安定した効果があります。
- 難防除雑草のクログワイ、オモダカ、等や近年問題になっているスルホニルウレア抵抗性のホタルイ、アメリカアゼナ等にもすぐれた効果があります。
- 薬剤処理適期幅が広く生育期処理での効果が高いので、雑草の発生をみてから処理できます。

## ■適用病害と使用方法

(2026年3月9日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ベンタゾンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
移植水稻	一年生雑草 (イネ科を除く) マツバイ ホタルイ ウリカワ オモダカ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ シズイ エゾノサヤヌカグサ	移植後15日～ 収穫45日前 まで	500mL /10a	25～100L /10a	2回以内	落水散布又は ごく浅く湛水 して散布	2回以内
				1.6～5L /10a		落水又はごく 浅く湛水して 無人航空機に よる散布	
直播水稻	一年生雑草 (イネ科を除く) ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ	は種後35日～ 収穫45日前 まで	500mL /10a	25～100L /10a	2回以内	乾田・落水状態 で雑草茎葉散布 又は全面散布	2回以内
				1.6～5L /10a		乾田・落水状態 で無人航空機 による散布	

## ⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 散布液は使用当日に調製してください。
- 農薬本剤は水の移動に伴う移行性が大きく、一般に水深の浅いほど効果が安定するため、次の注意を守ってください。
  - 使用にあたっては落水状態(足跡に水が残っている状態)にして水の出入りをとめ、まきむらのないように均一に散布してください。
  - 水を落とすことができないところでは漏水のない水田に限り、できるだけ浅水状態(雑草が水面上に出る状態)にしてまきむらのないように均一に散布してください。
  - 散布後少なくとも3日間(浅水処理は5日間)はそのままの状態を保ち、入水、落水、かけ流しはしないでください。また、散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水しないでください。
  - 処理後2日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで使用してください。
  - 深水にすると効果が劣るので注意してください。
- 無人航空機による散布に当たっては、次の注意を必ず守ってください。
  - 無人マルチローター(ドローン)にて使用してください。
  - 無人ヘリコプターの使用をさけてください。
  - 散布は散布機種 of 散布基準に従って実施してください。
  - 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  - 高濃度において散布する場合、沈殿物が生じる場合があるので薬剤調製後は速やかに散布してください。
  - 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行ってください。
  - 薬剤散布に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
  - 住宅地、水源池、飲料用水等に影響を与えないよう散布区域を選定し、周辺の諸物件に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
  - 周辺に水稻以外の作物が栽培されている場合は、飛散によって薬害が生じるおそれがあるので無人航空機による本剤の散布は行わないでください。
  - 散布に当たっては、飛散低減ノズルを使用してください。
- イネ科雑草には効果が劣るので、田植前後の土壌処理除草剤で一年生雑草を防除した後、多年生雑草及び一年生広葉雑草の防除を目的として使用してください。
- 本剤は生育期に入った雑草に効果があるが、雑草、特に多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので必ず適期に散布してください。ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカでは発生盛期から増殖中期、オモダカでは発生盛期から発生揃期まで、クログワイでは草丈30~40cm、エゾノサヤヌカグサでは2~4葉期、シズイでは草丈20~30cmが本剤散布の適期です。
- オモダカ、クログワイ防除は、必要に応じて有効な前処理剤との組み合わせで使用してください。
- 重複散布は薬害のおそれがあるのでさけてください、また、周辺作物にかからないように注意してください。
- 砂質土及び漏水のはげしい水田では使用しないでください。(減水深2cm/日以上)
- 軟弱苗では薬害(接触害)のおそれがあるので使用はさけてください。
- 高温条件下では薬害が生じやすいので異常高温下での使用をさけてください。
- 高温など薬害を生じやすい条件での使用は多めの希釈水量を用い、低濃度液をなるべく水稻にかからないように散布してください。

- 少水量散布(25~50ℓ/10a)には専用ノズルを使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

## ⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

**魚毒性**…水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。

無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。

**保 管**…直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、  
またはクリックしてください。

